Honzō Kōmoku Kibun
vol. 25

W391
21

綱啓
巻三十
二十七
木
上
(十巻)

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

W391
21

書
23-8
国会図

89W87987

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

コノテガシワ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

コノテガシワハ　カヘ 和名抄　兩面
ハリギ 土州　ヨロヒギ 大和宇陀

栢　百木長 事物異名　蒼宮 同
阿剌孫 共同上 蒙古ノ名　百花長 事物紺珠　仙菜 日
淺色沉 同　參天 名物法言　鬼廷 續博物志
鞠 通雅　剛栢 書叙指南　匾松 訓蒙字會

合掌栢 論語詳解同名アリ　黄腸 潛確類書
朝鮮ニテハ栢ヲ松トス月令廣義ニ北方呼栢作松而呼松為馬尾松

實一名 鍊形松子 韋譜

釋名 椈 音菊 側栢 李時珍曰按魏子才六書精蘊云萬木皆向陽而栢獨西指蓋陰木而有貞德者故字從白白者西方也陸佃埤雅云栢之指西猶鍼之指南也栢有數種入藥惟取葉扁而側生者故曰側栢冠宗奭曰予官陝西登高望栢子萬株皆一一西指蓋此木至堅不畏霜雪得木之正氣他木不及所以受金之正氣所制一一西指

輔仁 堅剛 兼名苑 和名比乃美 一名加倍乃美

栢ノ類多シ凡ソ單ニ栢ト称スルハ側扁栢ヲ通メ言フ六書ニ栢ト称ス栢葉栢子仁ト称スルハ皆側栢ナリ故ニ本條モ亦然リ側栢ハコノテガシハナリ葉ソバダチ生メ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

掌ヲ立ルガ如シ故ニ側柏ト云其葉面背共ニ緑色故ニ両面ト云フ萬葉集十六巻ニ奈良山ノ兒手柏ノフタラモテト讀メリ故ニ今ニ両面ノ名アリ扁柏ハヒノキナリ葉平ニ布テ生ス故ニ扁柏ト云一名黄柏 圃史 其葉面緑ニシテ背ニ白脈アリ側柏ハ西ニ向フテ枝ヲ出ス故ニ樵夫山ニ入リ若方角ヲ失スレバコノ枝ノ向フ方ヲ見テ東西ヲ知ル因テ土州ニテハリヂキト呼ブ釈名ノ註ニ引トコロノ柏之指西猶鎡之指南ト云埤雅ノ説ニ合ヘリ李時珍ノ柏ノ品類ヲ分ツ詳ナリ子ノ形状ヲ説クヿ殊ニ明白ナリコノ子即薬用ノ柏子仁ノ別録ニ四時各依方面采陰乾ト云フハ本草彙言ニ如采葉須隨四時建方春採東夏採南秋採西冬採北取其得月令之氣也ト云ヘリ斅ノ説ニ花柏ト云フハサワラナリ叢柏葉ト云フハ即千頭柏ナリ有子圓葉ハ側柏ナリ時珍ノ説ニ柏葉松身者檜也ト云ハヒヤクシント云又松葉柏身者樅也ト云モミノキ之一名鳳尾松 通雅 又松檜相半者檜柏也ト云ハイブキビヤクシン又竹葉柏身者謂之竹柏ト云ハナギ一名チカラシバナリ

側柏 漢種享保年中ニ渡ル

國薬須知 主治側柏子仁虚人大補薬トス婦人頭面ノ病ニ宜シ男婦共ニ夜尿ノ症ニモ用ユ

○疣ニ柏子末香油調敷○側柏丸治癘風使眉鬚再生側柏葉九蒸九曝末煉蜜和丸如梧桐子大毎服五十丸熟水送下日三夜一○側柏葉末敷○白屑側柏青葉大ノ大當歸川芎胡桃榧等分キサミ麻油ニ入毎日ヲ當十五六過櫛ニ付髪ノ根ヘシミル様ニスク○酒ニ醉ザル方柏子仁麻子仁各八匁末白湯下後酒ノム○髪ヲ生スル葉油浸ヌル○ミヅムシノ葉當歸煎洗○ノ実香油調敷

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

セニジユ

ソバタチ 古名

千頭柏 本草微要

佛手柏 數ノ說ニ叢柏葉ト云

側柏ノ一種葉多ク叢生シ多ク手ヲ立ルガ如シ

合掌柏

千指柏 李仲梓ノ醫宗必讀

牛掌柏 紹興府志

千枝柏 大明一統志

佛掌手柏

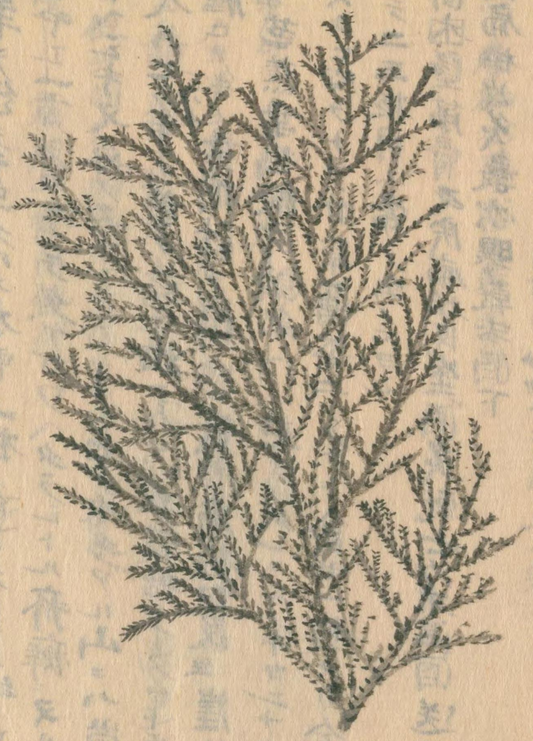
国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

ビヤクダンノキ
東福寺

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ヒノキ



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

ヒノキ

扁柏 柏葉解 扁柏 汝南圃史　黄柏

節ノ油多キ赤キ所ヲヒデトヽ味苦シ是ヲ以テ硯ニ拵ヘ此硯ニテスリタル墨ニテ書ヲ書ケバ年ヲ経テモ虫クワズ木曽上松ノ邊ニテトリ出シワリテアカシニ用ユ脂ヲトルニハ一方ヲモヤシ一方ヲカタゲテタケガワヘタラシトル疥癬ニヌリテヨシ又タムシヲカキテ其アトヘシキ又舟ノエイニカヽシテヨシ ヒノ木多アル山ニハ草類不生タヾシダノ類ノミ生ス山人云ヒノキノ葉ヲ誤テ畑ニ入レバ五穀枯レイタムトヽ

○乳腫ヒノキノ葉搗汁ヲ用 ○散腫扁柏白皮生 崖椒葉陰干二十霜ボレイ煅紅螺霜芭蕉葉搗絞汁調敷 ○草履スレニヒノキカニナクズ付ル ○胸蟲ヒノキ葉手ニ一スクヒ心ヲトリ甘草薄茶二フクホド食廿一粉スリ合 ○丸茶トシ米ノ粉衣ニメ鹽湯ニテ二三粒用ユ常ノ虫ニモヨシ

○自高木墜筋骨及戻扁柏皮塗酒炙乾七次末温酒送下

○打撲扁柏皮炙數次曝乾末酒下

○骨鯁 ヒノキノ茅霜湯下 ○濕瘡扁柏葉霜軽杉サ香油調敷 ○乳癰ヒノキノ皮灰ニヲ用ユ上ヲイヤス ○齲歯扁柏木屑五八霜

○赤帯下扁柏水煎浴又未生茶トス

ヒノキノフジ　ヒデヒツトヽ

○ヒゼンノヨリニヒデノ油生脳雷丸油等分合付ル

○クサニテ諸ノ痒ノ瘡タヾレタルニヨシ ○ヒデノヤニノ油ハガニガサニツ肉ヲテ皮ベニ出ルモノヲ愈ス但先胡广ノ油雷丸ノ油ニテモ下ニヌリ付

○骨哽 ― 霜服一方同鐵銹

テウセンヒノキ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

朝鮮ヒノキ

クジヤヒバ

アソヒ
又日斧補圖

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

ミスミヒバ

アスヒ　信州
アソヒ　東三州尾州
アテヒ　京サガ
アスナラウ　江戸

スベテヒノ木枝サウラノ板目ノ木ニ目ノ堅目ノ節至テ大ノ堅キ節有ルヲ大ニ
職アテト俗ニ通称ス其アソヒノ木ノ目皆アテニテ至テ堅ノ家宅ノ柱ラニシテソサ
ラズ以テアテヒト云カ

ツクモヒバ
カナアミヒバ江戸

芽サキコムモノナリ
チヤボヒバニ似タリ

イブキヒバ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

チウヒチヒバ

チヤボヒバ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

チヤボヒバ　　ヒリヤウヒバ　此名ハ別物歟

葉ツマリタルモノ上品ナリコレヲ日光トス
葉ノ色黄ナルモノ黄金チヤボヒバ

チリメンヒバ

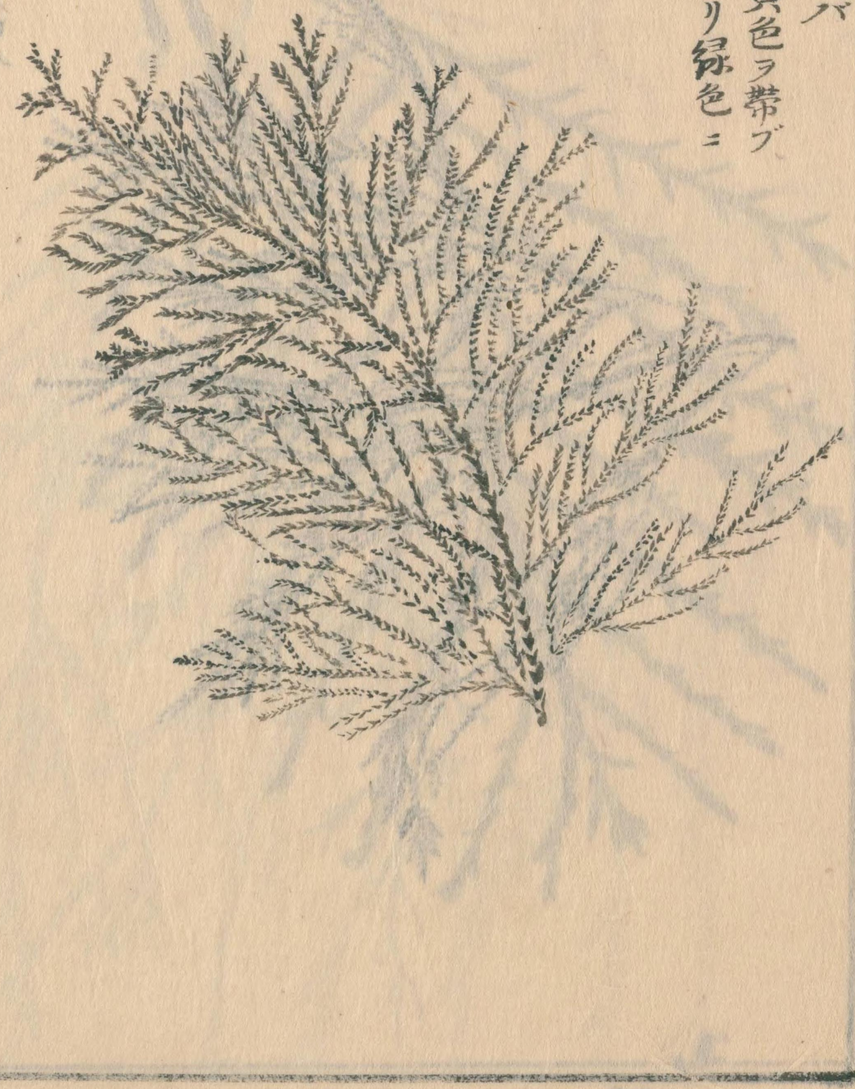
葉至テ細ククタク重リ繁密ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

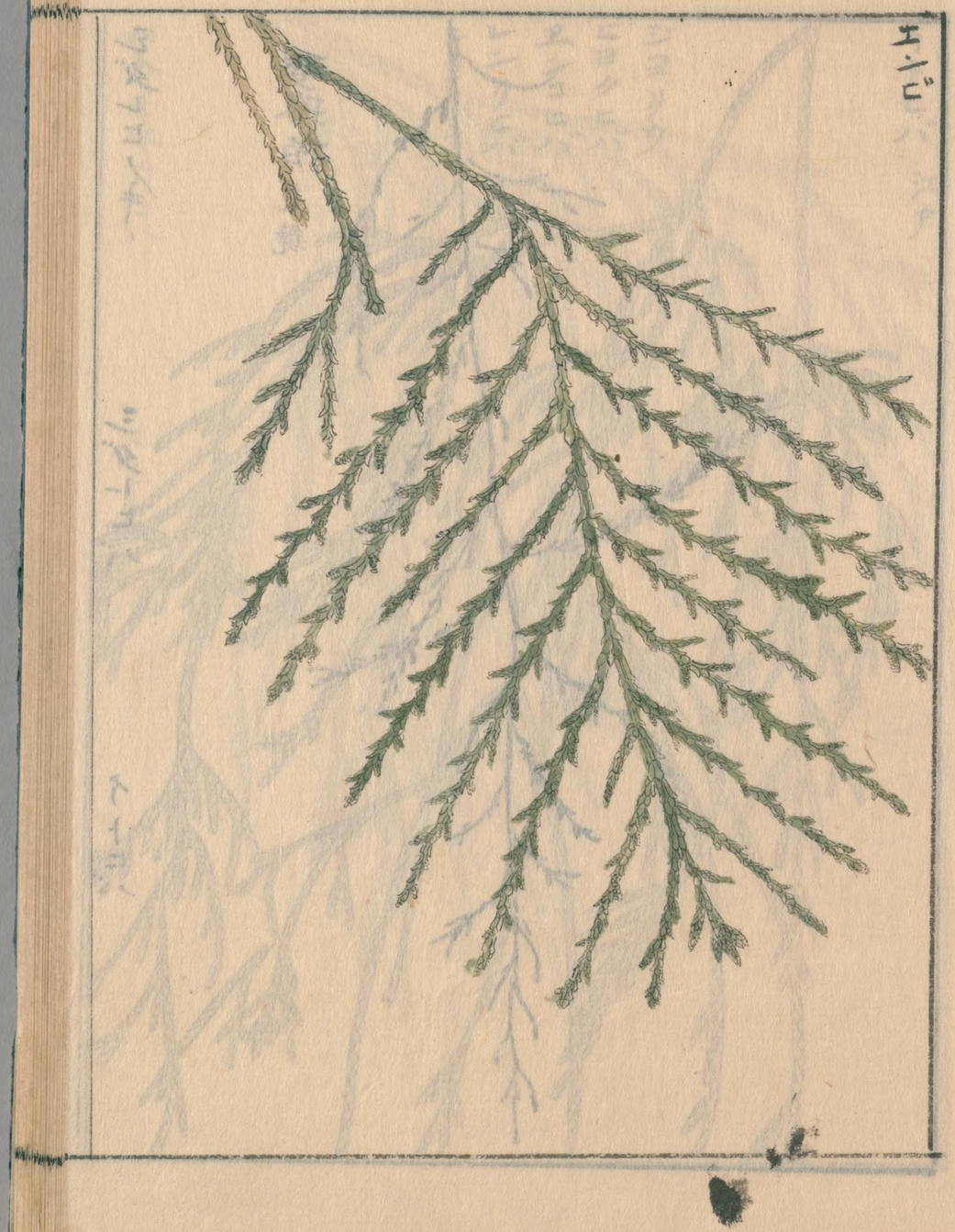
クロベヒバ

キリウヒバ

新葉黄色ヲ帯ブ
六七月ヨリ緑色ニ
変ズ



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

シダレヒノキ

瓔珞柏 花鏡

シダレヒバ

イトヒバ

イトヒバ 江戸

ジョリウ
ヒョクヒバ
エンコヒバ
レンリヒバ
キョリウ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

スイリヤウヒバ
フウリウヒバ

サワラ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

サワラ

柏ノ集解數ノ説ニ花柏葉ト云モノナリ

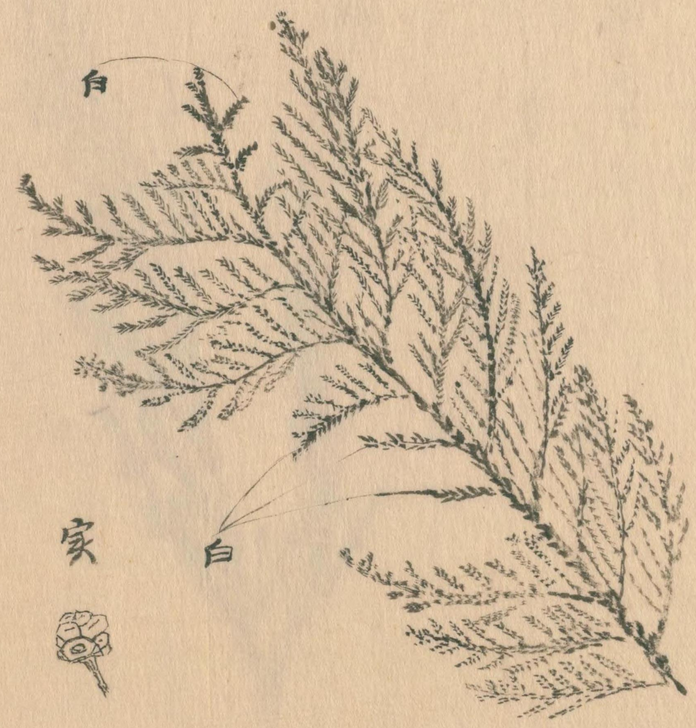
草鞋クヒ サワラノカニナ屑糊ニテハリ付ル

デキヒノキ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ホタルヒバ



アヅマヒバ

チヤボヒバノ如ニメヨクコモル
葉ハ細クタニノブヒバニ似テ
チヤボヒバノ如クニナル

ヒウガヒバ　ヒノキノ如シ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ヒウガヒバ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

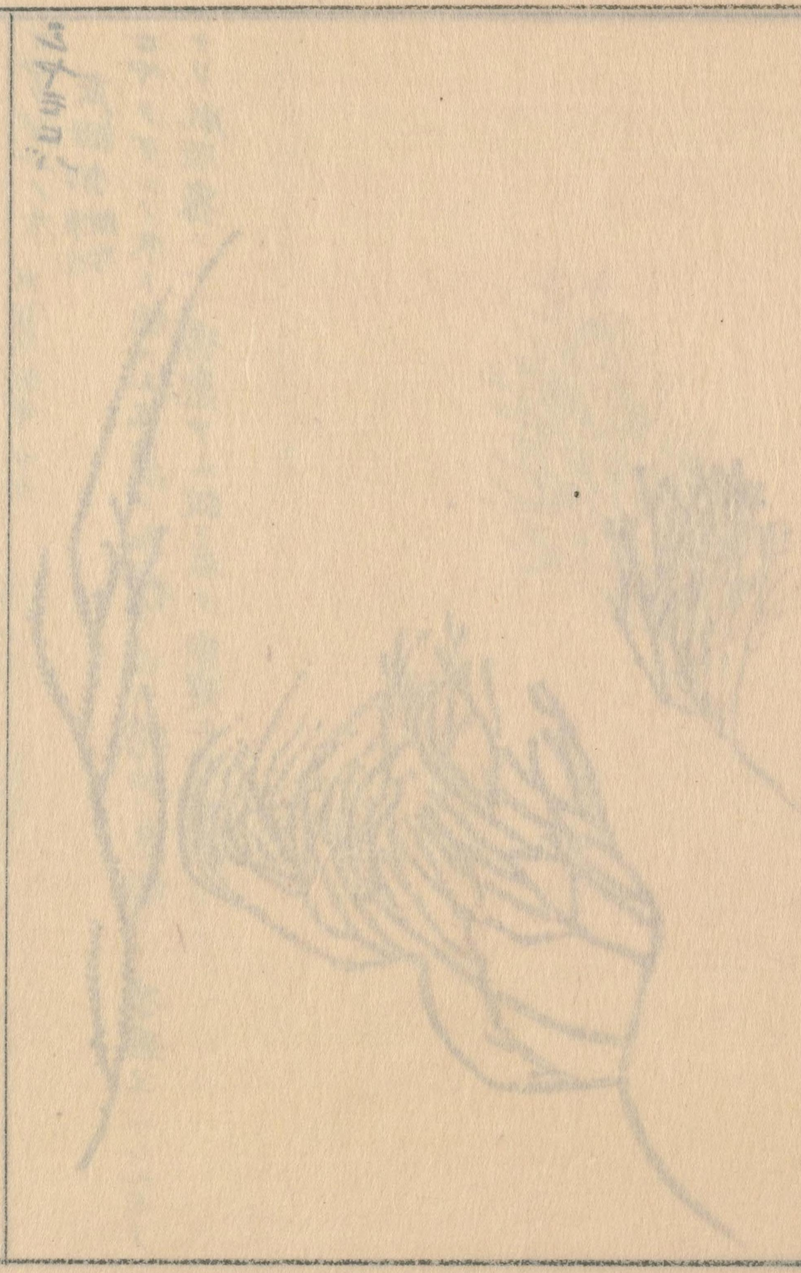
ホウワウヒバ

タニバイブキ 木ノ部
イブキノ班入ヲタニバイブキノフイリト云

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

ホロノ千地錦抄

ヒノキノ如ノ葉ヨノコトナルモノ



カニビヤクシン 地錦抄

葉ツニリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

ビヤクダニノキ

シヤモヒバ

ビヤクダンノ木 京都東福寺ニアリ

ビヤクダンノ木ト称スレド真ノ白檀ニ非ス檜柏ノ品類ナリ木理子ゲレルモノナリ肌理密ニシテ香氣アル故ニ名ノ京建仁寺境内ニアリ

ビヤクシン

ヒヤクシン

ヒヤクスギ　木曽山口湯舟澤　ジヤボク　鎌倉

（湯火傷ヒヤクシン葉汁敷ス

スギビヤクシン

スギビヤクシン　ビヤクシン

百葉仙人 事物紺珠　刺柏 通雅
栝子松 同上　圓柏 名物陸言
時珍ノ説ニ柏葉松身者檜也トイヘモノナリ
貞柏 紺珠　海檜 寧波府志

栝子松 同
檜柏 訓蒙字會

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ハヒビヤノシン

ミヤギ

矮檜 事言要言

矮桧 滝水燕談

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ナギ

イブキビヤクシン　イブキ
ミキヲカ　木色赤ニ故ニ名ク

血柏　汝南圃史　檜実　同上

用筆須知後編　混柏一名土檜

珠柏　肇慶府志

○止血イブキビヤクシン葉研爛敷

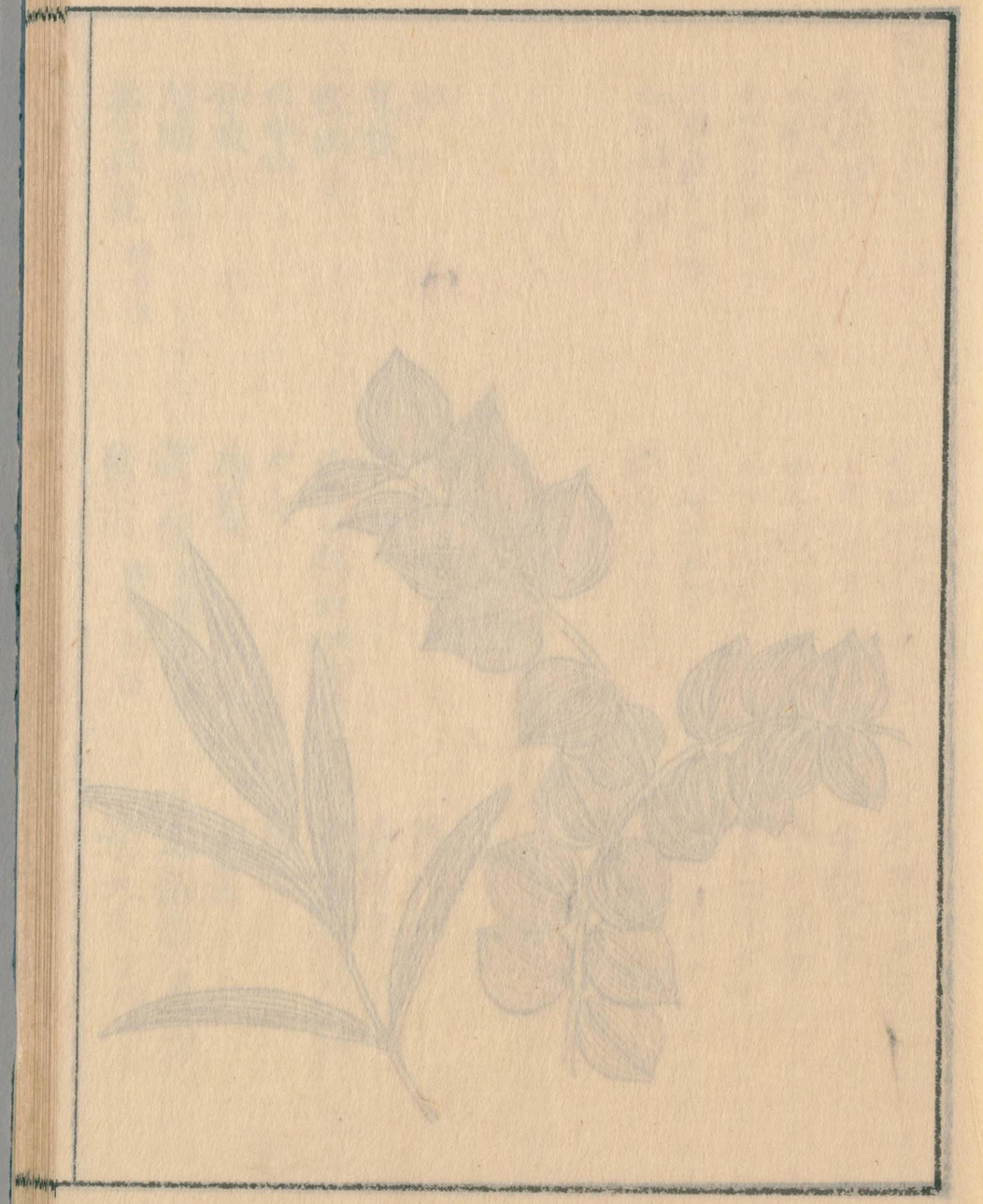
又黒イブキアリ葉黒色ヲ帯ブ木モ黒シ
又ハヒイブキアリ地ニ臥ノ矮檜ノ如シ

カマクライブキ　鎌倉ノ名産之

二色檜　通雅

羅漢松　函史

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用



ナギ　チカラシバ　ナメラギ

竹柏 竹葉柏身者謂之竹柏　群芳譜曰竹柏葉繁長而穰似竹與竹類緻理如柏以形得名ト云

葉ノ形竹葉ノ如ニメ短ク厚メ對生シ深緑色冬モ凋マズ花ハ松花ノ如ク実ハ円ニメ大サ五六分地ニ下メ生シ易シ和州ノ春日若宮八幡ノ山ニ甚多シ大木モアリ其木年ヲ経レバ木幹ノ粗皮自ラハゲ落テ赤黒ニメ滑ナリ其葉倶ニ滑美ナルヿ他木ニ異リ故ニナメラギト云其葉ツヨクヒケ圧切レズ故ニチカラシバト云南國海辺ノ山中ニ生ス性寒ヲ恐ル故ニ北国ニハ稀ナリ高サ二三丈四時青葉アリ四月新條ヲ生ス此時舊葉稀黄色ニナリメ落四月葉間ニ花ヲ生ス黄白色筆頭菜ノ穂ノホケタルニ似テ小ク長キモノハ寸餘短キモノハ七八分一處ニ一穂或ハ二三四五穂集リ生ス又生葉上ニ火ヲ置テ黒紋ヲ生スルヿタラヤウニ同シ木根葉皆味浩性温無毒椰ノ字ヲナギト訓ズルハ那木ノ二字ヲ合タルツクリ字ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

マツ

初代草
千代木
タムケクサ
ユウカケグサ
延喜草
ヒキマグサ

イロナグサ 色無草
トキハグサ
十千代グサ タサ
メサマシグサ
ミヤコグサ
百草 以上古歌

オキナグサ
千枝グサ
スヽクレグサ
コトヒキグサ
クモリグサ

松
虬枝
髯御史
木中仙
仙友
蛇鱗 共同上
蒼顏叟 群芳譜

青士 事物異名
十八公
赤葛刺孫 共同上 蒙古名
大夫
馬鬣
霜下傑 典籍便覽
髯翁 廣東新語

節士
蒼髯叟
葉恒盛 事物紺珠
清友
龍髯
支離叟 名苑譜
秦大夫 名物法言

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

叢木 通雅　木仙 清異録 古杰トアル

釋名 時珍曰根王安石ヲ字説云松柏為百木之長松猶公柏猶伯也故松從公柏從白

輔仁 丹光之母　丹公真華之母 大清経　構 音門 兼名苑

木明 銀臉方

輔仁 松實又松子者木精也 范汪方　花名松黄 拂取似蒲黄　瀦 取松枝燒其上承取汁名瀦　艾納 樹皮緑衣名艾納已上三種 蘇恭注

松葉ヲ唐山ニテ松毛ト云

○松ニ雌雄アリ雄ナルモノハ皮ノ色黒シ故ニクロマツト呼フ漢名黒松 説鈴 ワマツナリ

○雌ナルモノハ皮ノ色赤シ故アカマツト云漢名赤松 彙苑洋注 一名朱松 同上 メマツナリ

○山中自生ノモノヲ柴松 汝南圃史 ト云 山松 野菜博録 常松 秘傳花鏡

○三針ノモノヲ俗ニサンコノマツト云漢名三針杏 一名孔雀杏 海杏子ノ條下 三針ノモノニ非ス二針ノモノモ雜レリ又尋常ノマツニモ稀ニ三針ノ者雜リ生スルヿアリ是ハ変生ナリ又一針モノモアリコレヲイツコノマツト云唐山ニハナシ

○又五針ノ者アリ漢名五粒松 海杏子ノ條下 一名五鬣松 須ノ説 五鬚松 泉州府志 五釵松 瀕確類書 是ニ二種アリ

○葉ノ形細ク短クメ赤ノタチタルモノヲ俗ニ五葉ノマツト云

○一種葉ノ形粗ク長クメ黒松ノタチナルモノヲ俗ニカラマツト云又チヤウセンマツ比云漢名新羅杏 海杏子ノ條下 此杏毬最モ大ニシテ長サ七寸許其子即海杏子ナリ

○又七葉ノモノアリ蘇頌ノ説ニ七鬣ト云モノヽ花戸ニテチ葉ノカラマツト呼フ是群芳譜ノ果松ナリ

○常杏松葉ノ如ニメ色白ク粉アルカ如ク見ユル者アリシモフリマツト呼フ漢名白松 華夷考

○今花戸ニ葉半白ノ半緑ナル者アリニラガマツト呼ブ

○又黄緑間道ナルモノアリ

又白緑間道ナルモノ

○又白斑アルモノアリ

○又盆玩ノ者ニ形状ノ枝繁ノ古木ノ形ノ如クナル者アリサレマツト呼フ漢名天目松 汝南圃志 千年杉 秘傳花鏡

○又根高ノアガリ生ズル者アリ鹿島マツト呼フ又根アガリマツト云漢名黄山松 南○常州鹿島又日光白常州鹿嶋高間ケ原ノ松ハ大木ニナリテモ切リテ常ノ松ト違ヒ切リ口ヨリ黄ラ生ズ是ヨリ出ト聞ヘズニ松江戸ノ葉ニラガニツニ似テ八九月頃一旦紅ニナリ又冬ハニラガマツノ如ニナリサレカバ色ヲ帯ビ九月比ハ色ヨリ紅色ニ染ム

○平ラ松 江州石部水口ノ間平松村ノ山ニ一處此ノ許アリウツクシマツト云ヨリ箱ニ切リ出ス 秉燭 松ノ類ノ如キモノ 又日葉ハ唯ニシテニキハ檜木ハダナリ

○ヨラニダマツ 鹿尾松 花鏡 夏ハ長葉ニ針出冬ハ長葉 枯五六分ノ短葉一針生ジ夏ノ長葉出ル形ニテ名ノ

○一ツ葉 葉短クコモリタルモノヤワセノ実生ノ由(ヨシ)ニテ植木屋ニアリ一葉ノ如クナレドモト二針ニシテニツキ合テ一針ノ如クニ見ユ杉松尾云 ○一針松 葉四十ニゾアルモノト二種アリ上

○ヒメユマツ ヒメニツ 五粒小松 通雅 木葉共ニ五葉ホノ如ニノ葉サノ長ツクリホトナス葉二寸餘木曽山ノヒメコハ長七分アリ木皮白ク肌細ク木肉白ク檜ニ似葉重ク集リ重テ生ス葉ユヘカニゲリテ美ナリ

○ハヒマツ 御嶽ニ産スルモノニテツトニモノ五粒小松ノ一種ニノ白粉ヲ帯ビ花深紅枝葉繁密枝皆地ヲ這フ白山御嶽等ノ高山ニ生ス甲州金峯山絶頂ニモ偃ニテ上ニ生ス葉ハ五針ニノ短ニ

○カムロマツ カンセウノ如ニノ葉垂テ白キトコロサシ

○雞股屋ノマツハ十五間ニ十八間廻リ六十間アリ

○奥州伊達郡義経ノ腰懸松見事ナリ唐崎ノ一ツ松ヨリ見事ナリト

○三保ノ松原ノ松ハ三葉ナリトゾ

○西翁曰北ヨリ二軒目東側山田清吉ニアル盆栽人来朝ノ時寄ラ傳ノトゾ

○ミダレニツ

○薩摩ノ鹿兒嶋ニハ葉ニマカニシテ見事ナリ又日

國藥須知　老松根　松樹根煮汁ヲ二三ツト云主治歯牙痛ヲ癒ス諸痛ヲ治ス

同書　松ニ三ドリ主治婦人血症何レモ効アリ破漏血脫血諸症ニ宜シ牙歯疼痛ニモ用ユ労咳喘息婦人大切ノ君薬ナリ

同書ニツカサ　主治血症ニ宜シ何レモ焼テ用ユ婦人ノ主薬ニ毛髪ヲ生ス血堀臍下疼痛痃癖腰痛背脊痛下血衄血大便血ニ佳シ

同書　松樹皮ヲニガハ老杢皮也雄杢ノ者宜シ仙家服食方ニ用　主治淋疾或ハ小便渋滞筋脈ヲ通ス亦疥癬ニ功アリ

同書　ヤマニ　主治厥疝痛疳瘕心下痛積聚血堀瘀血婦人月経不調　赤白帯下打撲ノ疼血腹痛痃癖頑癬脚疼腰痛等急引痛ノ者ニ宜シ大切(効)アル奇品ナリ　外科ニ膿腐爛ニ用ユ

用薬須知後編　松香脂　松香ハヤツヤニ布ニ包ミ佛湯ノ中ニ入振リ出シ浄洗ノ用

松樹老鬣皮　老松ノ皮ノ落カヽリタルモノ

黄香　松ヤニ

用薬須知續編　老松香松脂ヲ白松脂白松ハ二三モアリ二ツノ脂ナリ

用薬須知續編附録　聚幹雲一名十八公タコ二ツ

三村陳富説　杢ノ木ハ厚皮ノ木ノ中最ヲ諸木ノ中ニテ皮厚ニアトニト匝音ヲ一説ニ杢ハタモソヘタノ字ヲ畧スモトニハ通ス其年ノ齢ヲタモツモノナレバヘ〇松ハ其色常ニ不変性青色一色耳故ニ色無草トモ又常草トモ云

〇枝葉繁合テ覆日故ニクモリクサ　イヌゴケクサ　スンシレ分ト云

〇松ノ葉ハ黒色ニアカツクモノユヘス、タレクサトヲ葉色アカツホタルハ燻ヲ畨アケタルカ如シ

〇松ハ長生ノ齢ヲ経ルトヲ其長生ナルヲ以テ翁草トモ長居ニテ見ル人ソオチユチトヨメルモ松ノ哥ナリ　〇少ヲ初代草トモハ千代初ノ意ナリ

〇亦名哥ノ詞ヲ以名タル名アリ琴ノ音ニ峯ノ松風通フヲ以琴ニヒキ草ノオトスナリアカヒノ浦初ケトヨメル哥ヨリ云ヒ琴ノ琴(コト)ヲ弾草トモヨモスガラ琴ニヒキ草ノオトスガラ琴ノヨルベフク風　〇松ヲ都草トモ異説多アレ共是是モ哥ノ意ヲ用タルヘトモ云ヒ都草カナ　〇又茅ノ和名ヲメナリイナカニモイカデイワニヒ武蔵野ハミドリニ立サヽヒ草トモ松ハ風ニ音ヒテサハガシク睡モ可覚モノナレハ此ヲ以テ月覚ヒ草トハ云ナリ　サテ又説ニ曰千代喜草ハ正月子日ヒ引小杢ノヲ千代引草ヒトヲノ子ノ日スル野也ニ小杢ノ十カリセバ千代ノタメニ何ヲヒカヒヲヒトヲ哥ノ意ヲ以可知トヲリ

▲田舎ノ松ヲ都ノ種トホメヒヨリ松ヲ都草トヲ

後

倭

○一説ニ初代草ヲ小杰ト云ハ非ナリ初代草ハ正月所用ノ門杰ナリト云リ○一説ニ千代見草ハシメナハヲ付タル杰之門松ナリ○一説ニ初代草ハ葉強草之葉強メ暑寒不凋故名ク

○初見草　天智天皇花畫異名年毎ニミトリノ色モ初ニ草カワラヌ色ノ名ニヤメツラシ

○松ハ千年ニ一度花開或云百年ニ一度花開十年ニ十度花ヲ開故ニ松ノ花ヲ十カヘクノ花ト云此説妄説ナリ松樹六七年後ハ毎年此花ヲ開ク別ニ花アルニアラズ花開テ花ノアトニハ杰カサ不生別ニワカミドリノ本ニ生ス

○嫩葉ヲトリ五七日米泔ニ浸シ脂ヲ去一日ホシ酒ニテムシ後タヽキ和メテタバコニ代ヘ用　松葉タバコト云

松ノ肥ニムキミノ汁ヲソヽグベシ又貝ヲ根ニ置バ出ツカズ又アワビ貝ツルシオケバスベテ出ワカズ又狗小便セズ

倭考　華陰杰ハ五葉杰ナリ

○松脂吉野ゴシト云ハヨシノ紙ニテコシタルナリ形一銭宛ノ白キアメノ如シ色モ同シ

○高野コハクデト云テ形コハクノ如水干ノ法煮シ湯ナル内ニ布袋ニ入シタメルナリ尤水中ヘシメコムナリ

○マツヤニ　ハルス　紅毛

○瀝青ハ松脂ニ油ヲ入テ子ルナリ

○赤松ト黒松ノ間ニアイサト云モノアリ葉ハ赤松ノ如ニシテ木皮黒松ニ似タリ

○マツカサ　チニチリ　大和宇陀

○赤龍皮　マツノカハ

○イザリマツ　一名カサマツトモ云是ヲ偃杰　事言去要　一名偃蓋松　同上　矮松　五雜俎　臥龍松　弟山志

○篠島ノ松ハ切込デ芽ニ出スト云

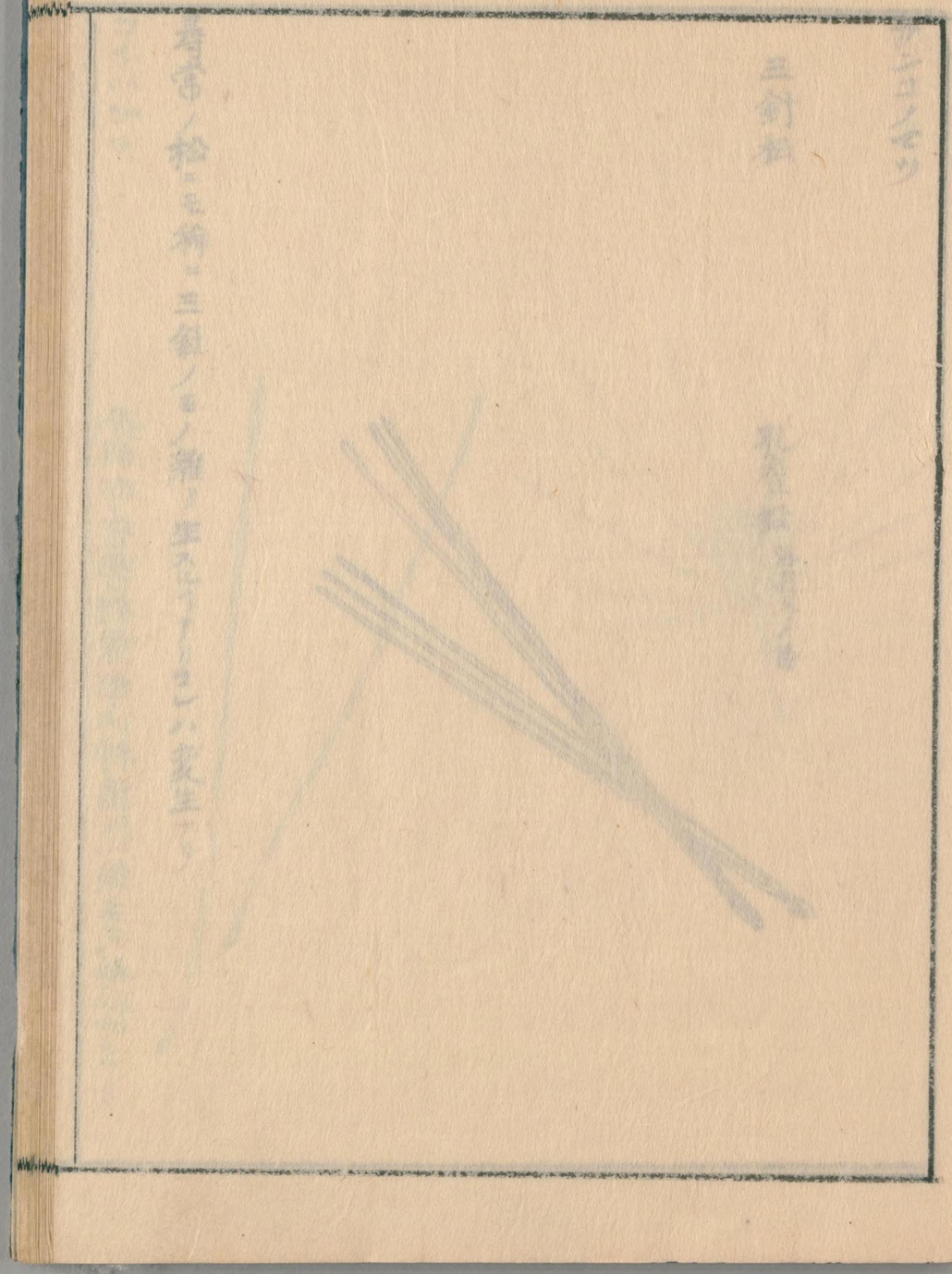
○ベニカケマツ　シラガマツノ如ニメ紅カケル

○鹿島ノ産松ハ切テ芽ヲ出スヨシ江戸ニアリト又曰初メノ鹿嶋根上リ松ノ條ニ出重出

○頭瘡松カサ若キヲ霜ノ油ニテ付
○骨哽松ノ木ノヌケ節霜水下　○骨哽赤雀ノ心霜
○諸瘡開孔松明(ママ)男子乱髪大刀子不吉敷寺ノ鳩下○
度ニ含テ吐　○淋ヲニワノ葉　○痔松ノ実ヲトリニツ
キ炒ヲキザミ五匁甘草一匁煎用　○下血松カサノカヲレタルヲキザミ煎用　○頭瘡松カサ
若キ内ニ黒ヤキニメ、コノ油ニテ付　○血トメ松ノヒトリ
○産後兒枕痛　松ニドリ　○諸瘡松蘚霜末入湯温洗
末含之　○穴蓮雄松葉雄松葉各一匁細剉一匁炒香一匁陰干同細末糊丸塩湯下
○打撲雌松(コエ)霜酒下　○止血松ノヒトリ霜ノ葉霜敷
○五痔松毬九月採煎服　○金瘡陳(ヒネ)葉自然汁敷
干末　○臓瘡松カサ霜香油調敷　○痔漏松毬水煎盛桶益穴穿一孔當肛門熏
○金瘡催愈肉不起雌松皮(ヒネ)霜皮肉桂水煎頻洗　○癩病松脂末熱湯和丸如梧子大毎
三五丸空心用　○骨哽五葉松　○防疫病松葉煎防疫病
○歯根腫痛　松葉ヲ酒ニテ煎含ム　○歯ニハギタルニ松皮五倍子煎含　○血トメ松ノヒトリ霜ノ葉霜敷
日ノ未ダ不出時ニ松ノヒトリヲトリ陰干末毎用二匁舌上ニヲキ以白湯下即効
○男歯生松葉一握水煎入白礬末含之　○青筋急ニ肩背ノカタクコリタル呼ヲ小刀ニテ

ヤブリ悪血ヲトリ人心地ツキタル時ヲキタル痕口ヘ焉ブニ汁ヲヌリ服若ハ青松葉煎服
急ナルヨハスグニカミロヘアテ込　○血止松葉末　○胸突松ニドリ煎用
○淋松脂一二匁ツヽ朝昼晩陽下　○治髪色赤黄松カサ青時トリ霜未大風子油調
敷　○横痃(コテ)松ニドリヲトリツキ三屋糊ニ調敷　○骨鯁五葉松霜
古銭一文煎服　○湯火傷松樹霜掠之　○打傷筋違(ヒキチガヒ)松ニドリ卵ノ白ニ酒ノ上カス各四
十久スリ合付ル　○湯火傷ニ松カサ実ノイラサルヲ霜ニテ付ル　○下血松ニドリ霜
○楊梅瘡松カサ霜大黄柏大官粉少付ル　○松タケニアタリタルニ松ノ根煎服
○アカキレ　松脂艾葉黒焼火ニテアタヽメトカニ付ル　○又方松脂キニ等分酒ニテトリ付
○又方松脂下ニメ十五匁ウドンノ粉日麻油一匁煎ツメ付　○諸瘡松ニドリ霜入温湯洗
○産後兒枕痛　松毬陰干末醤汁煎服　○白禿松カサ青時霜大風子油ニテ付
○小便(ベン)通(ツウ)ノ　腎中ヘ青蚕(カイコ)蛾ヲコメバ　○疝松脂ニ沙糖ヲニゼノム　○セキ松脂黒
ヤキ用ヤキ花ニ傳アリ　○尻ノスヒ穴ノ久少松ノ上皮霜穴ノ中ヘ入

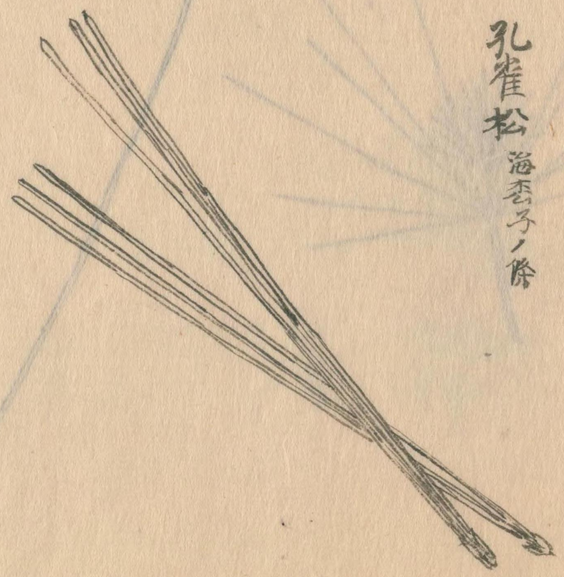
国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

サンコノマツ

三針松

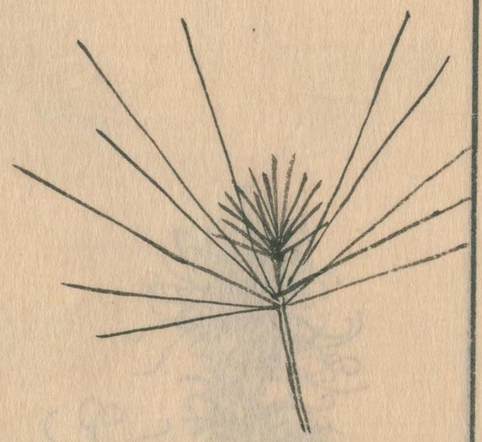


孔雀松 海松子ノ條

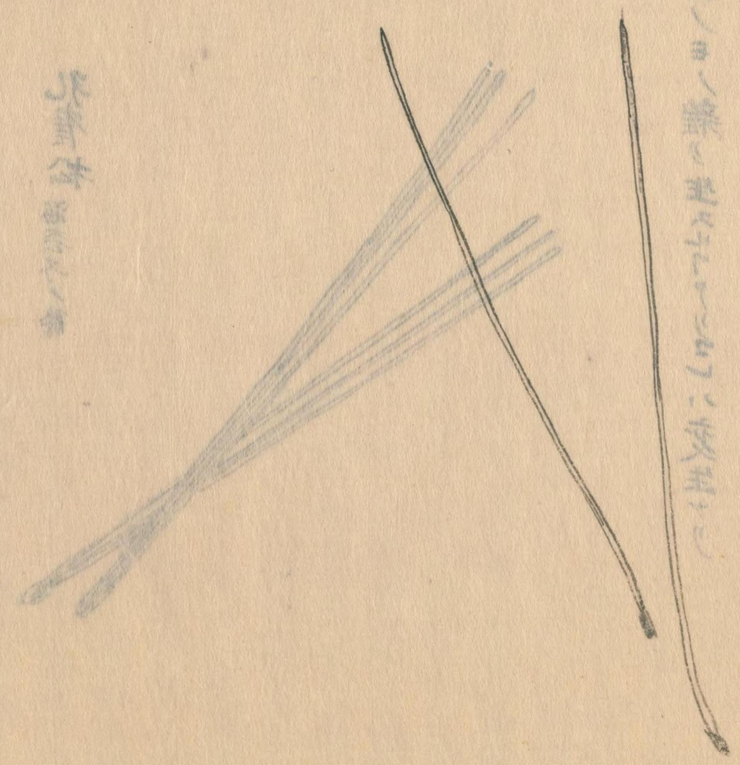
尋常ノ松ニモ稀ニ三針ノモノ雑リ生スルアリコレハ変生ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ワカマツ



ヒトハマツ



丹羽郡曽野村栗松山神清院鎮主天神社中ニアリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

イカリ豆

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

フジマツ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

フヂマツ　カラマツ　日光マツ
ヲチバマツ　バラマツ モミニモバラモミト云ハ冬葉オツ　クイ カラフトノナヨロ

落葉松 物理小識　金銭松 同上 河間府志 衡岳志

深山ニ生ス 日光及富士山ニ多シ故名ク木曽御岳千本松原又御岳三笠山ニ多シ 木曽滝越 京師台嶽道 江州田上山ニモアリ
葉背白ク春新葉生シ冬ニ至テ落葉ス春ニ至リ新葉圓ニ聚リ生メ菊花ノ形ノ如ク大サ銭ノ如シコノ葉皆一針ニシテ薄ク常松ニ異リコノ松及五葉松共ニ皮ニ鱗甲ヲナサズ
山中ニテ此木ヲ二ツワリニシ中ヲクリカケ樋ノ用ニ備フ年ヲ経テ腐ルヿナシ
夏至ノ後葉淡白
衡岳志曰生ニ于天台方廣繁葉如刺柏霜後盡脱蓋檜柏之別種
一脱前而一味辛性温無毒
葉秋ニシテ淡黄色ニ変シ
エゾマツハ落葉松ナリト山本永吉云フ

ハリマツ　ウキ子マツ　イトハマツ　チゴマツ

木曽山中所在有之木形大葉ノ五葉松ノ如ク葉モ細ク和ニシテ五葉松ト一様ニ此松ハ二針ニシテ細キヿ絲ノ如ク嫩葉ハ和ニシテ杉ナノ如ク都テ松根ハ土外ニ顕出ル者ナレ𪜈此松ハ愈高根顕レ出ス故ニ浮根松トモ大木アリ木長シ安シ皮赤黒色似女松身白キ事姫子松ノ如葉甚細軟而茴香ノ如シ老葉ハ二寸許嫩葉ハ寸餘標上多葉集生其根小木ヨリ土外ニ出赤色味淡辛性温無毒 此松他地ニ不見岐岨山中處々ニアリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

スギ 和名鈔　　ヒキ 古名

セープレスボーム 草木譜　　セイープレスシユス 羅

杉　　參木 格言要論

徑木 汝南圃史　　紗木 通雅

刺斗 通雅葉ノ名

釋名 粘 音杉　　沙木 綱目

輔仁 杉材 楊玄操音杉　　鼠查 楊玄操音側加反

桱樹 靖江縣志

刺杉 物理小識

檄木 音敬

和名須岐乃岐

古名ヒキト云故ニ古書ニヒキノトヽ云ハ杉ノ下ナリト大和本草ニ云今俗ニ水桶等ニ用ユル木ヲヒキト呼ブハクサヒキノ畧ニシテ漢名羅漢松ナリ其材杉ニ似テ臭キ故クサヒキト云スギト云ハ彭ノ義ナリ木理直ナル故ナリ集解ニ有赤白二種ト云赤杉ハアカスギ一名アブラスギ暖地ニ多シ色紫ヲ帶テ香氣多シ器物トナスニ良ナリ○土佐スギハ酒樽ニ造ル香アリテ蛀クハズ○薩州夜久スギハ炷クヒ易シ

一名油杉 宗奭ノ説 紫油杉木 格古要論 紫檄木 同上

○白杉ハ三ツタト呼ブ木ノ色白シテ腐リ易ク下品ナリ ○丹後及若州海邊ニハ土中ヨリ掘出ス杉アリ色紫黒器物ニ造リ甚香氣アリコレヲ子ギト呼ブ物理小識ノ老杉ナリ又相州箱根湖中ヨリ出ル神代スギハ色淡黒ナリ人用テ器物トスコレモ亦老杉ナリ唐山ニモアリ肇慶府志ニ其最大年久者呼為沙木有水中偃蔵千萬年不朽者ト云々凡杉ノ葉ハ皆末尖リ手ヲ刺ス別ニ一種柔ニシテ手ヲ刺ザル者アリ ヒメスギトモ一名トウスギ漢名温杉 物理小識

○又一種常ノ杉ニシテ木ニ節多ク直ナラザル者アリオニスギトモ板トナシテ木理美シウヅラモクトモ

○又薩摩スギ夜久スギトモ是野雞班ナリ

附録丹桂木皮 詳ナラズ

○熊野杉 伊勢ヨリ熊野ヘ入ルト長島ヨリ上村々ノ山皆杉ヲ植百姓ノ自分山ナリ那智山迄ハヨシ其ヨリ上ハソダチ悪シ実ヲトル方法九月土用カケニノトル若木ノ実ヲトルガヨシ二月彼岸過ニ蒔日當リニ土ヲ細クシテナラシタヽキツケ肥シカケテ多クコメテマク薄ク土カケ其上ニ薄ク藁ヲオキ芽出テカラワラヲトル少シ赤土ノ所ヨシ高サ三尺許覆ヲ拵ヘコモ小麦カラ又ハ木ノ枝ニテモザツトヤ子ヲフク雨ハ少ツヽモルガヨシ日覆許ノ為ナリ来春迄ニ一寸許ツヽニナル二年メノ二月二三本ツヽ一所ニ植三年メノ春又一本ツヽニワケテ五六寸間ニ植折々草ヲトリ肥モ年三三篇モカケ四年メニ一尺五寸ヨリ上苗ハ二尺ニモナル一本代三四銭ツヽ是ヲ山ヘ植ル杉ヲ切出シタルアトヘ四五尺間程ツヽニ植初ノ内ハ下草ヲ刈根ニ置二丈許ニナレハ下草刈ルニ不及七八年モ過レバ延ビ立上コモレバ下草不生古切カブクサリテ肥トナル海ニ近キ谷川筋谷々ニ多ウス三四里モ奥ニハ不植少シ石交リノ地ヨシ大木ニナレバ下枝ハムセテ枯ルソダチ能所ガ三十年悪キ所ガ四十年三十五年位ニテ切ル木ハ頭木ガカシ桶ノ廻リニナル切時ハ六月土用立バ切ガ上品ナリ春ハアシヽ秋ハヨケレ皮ハギニクシ

一萬植テ五十年ニ三千ホドニナル三十年ニテ切レバ五千ホドモ有リアトハ追々ニカレ或ハソダチズシ切出スモアリ五十年ニテ三尺廻リ本ニテ四尺五寸廻リ位ニナル

杉皮ハ鎌ノ短キヤウナルモノ以テ木ヲ廻シ切ニ切テ竪ニタチワリ皮ノ間ヘシヤクシノ如キモノヲ入テハグ一人シテ一日ノ仕事ニ六尺四間結テ三束ホドハグ春皮ハ性悪秋皮ハ性ヨシ春皮三十束ナラ秋皮二十束位賣ル熊野ノ内尾鷲加田浦ナド多出ス又馬瀬ノ杉ハ馬瀬杉トテ目細ワレモヨシ

國案須知 赤目杉木 俗ニアカスギ 杉木ノ節瘤ノ脂液多キヲ用ユ主治疥癬ヲ療ス亦小便不利ニ用ユ奇功アリ痰飲上衝支飲留飲ノ者亦佳ナリ

○出雲ノ中村富江ノ話ニ土佐ノ杉村ノ堂カクレト云大樹ノ杉アリ十七間廻りアリト云
○木曽野尻白山権現ノ社前ニ大樹ノ杉アリ根廻り廿七歩ホド目通り四丈廻りモ有ベシ
○東濃加志母ノ内小郷地蔵堂ノ後ニ大樹ノ杉アリ目通り三丈六尺二寸廻り三丈六尺二寸廻り廿二口一丈六尺三寸也根廻り五丈九尺廿三歩ニ渡ル一丈八尺六寸四条アリ
○ノ子スギトニテ天井板ナドニヒクモノハ杜松ノ事ナリ
○日向杉ハ赤ク目ツンダルモノヽ
○サガスギ　北山スギヽ　床柱ナドニ用ユ　北山トハ紀州ノ北山ノ事ナルベシ又日京ノ北山ナリ
○サツマスギ　上品

○便毒横痃　杉嫩葉霜白者煅等分糊丸服
○歯齦杉脂少許メ痛ム歯穴ヘカヽシメ居レバ痛ム
○漆瘡杉葉煮洗又杉木煮洗　○湯火傷杉葉ヲニレクスノホ風ニ入　○金瘡断血老杉木心黄柏等分糊調敷　○フキデモノ痒杉葉ヲニレクスノホ風ニ入　○金瘡断血老杉木皮末敷　○癰疽杉ノニトリ霜ケイフンサ麻油調敷　○又方杉葉霜一匁糯米五分捶之別用蓮葉水浸調末如膏裹之　○又方杉葉霜朱ヲ紫色ナル程合付　○灸瘡杉葉霜末仮揭和貼之　○癤腫杉葉霜ヲ敷　○代脂杉葉陰干霜ニ匁銀朱一匁五分茄蓉霜一匁麻油調敷　○瘰癧杉葉霜一匁煅朱五分捶之別用蓮葉水浸調末如膏裹之　○白禿杉嫩葉霜蛇骨香油調敷　○痔杉葉霜一匁朱砂一分末敷　○湯火傷杉枝往年屋上者霜雞子白調敷　○口中諸瘡杉木白皮　○蛾蜴瘡杉葉搗和錫九紫担当衣　○歯痛杉脂丁子　○歯痛杉葉細辛川芎煎漱　○ナムシ杉嫩葉九百草霜為衣　○眼疾瞳子突出杉葉霜末和キリヽ米点目　○癰疽杉葉霜丁子霜油ニテ付　○又五月五日杉葉ヲトリ霜酢ニテ付ル

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

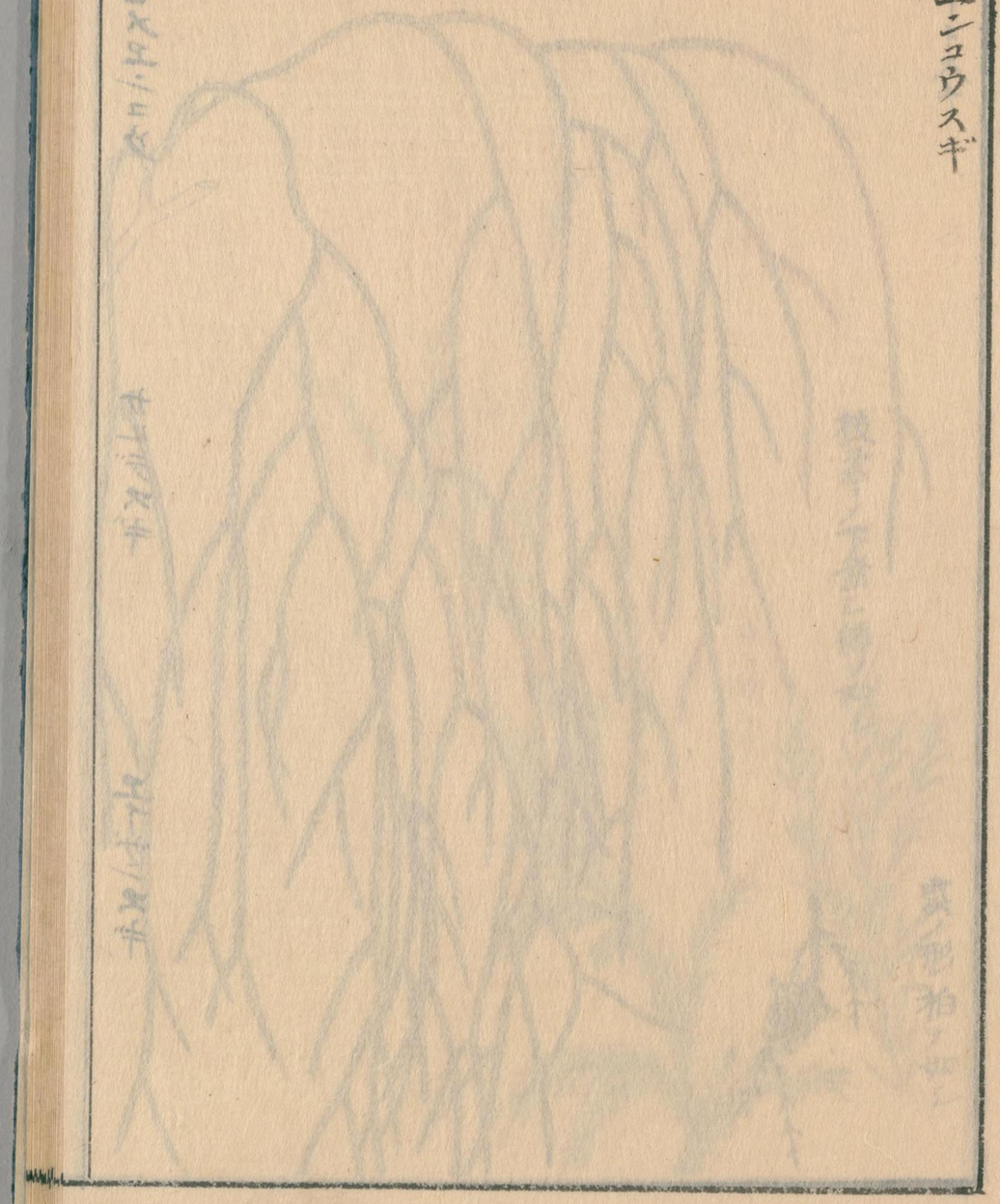
国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

カムロスギ

ミヽノスギ

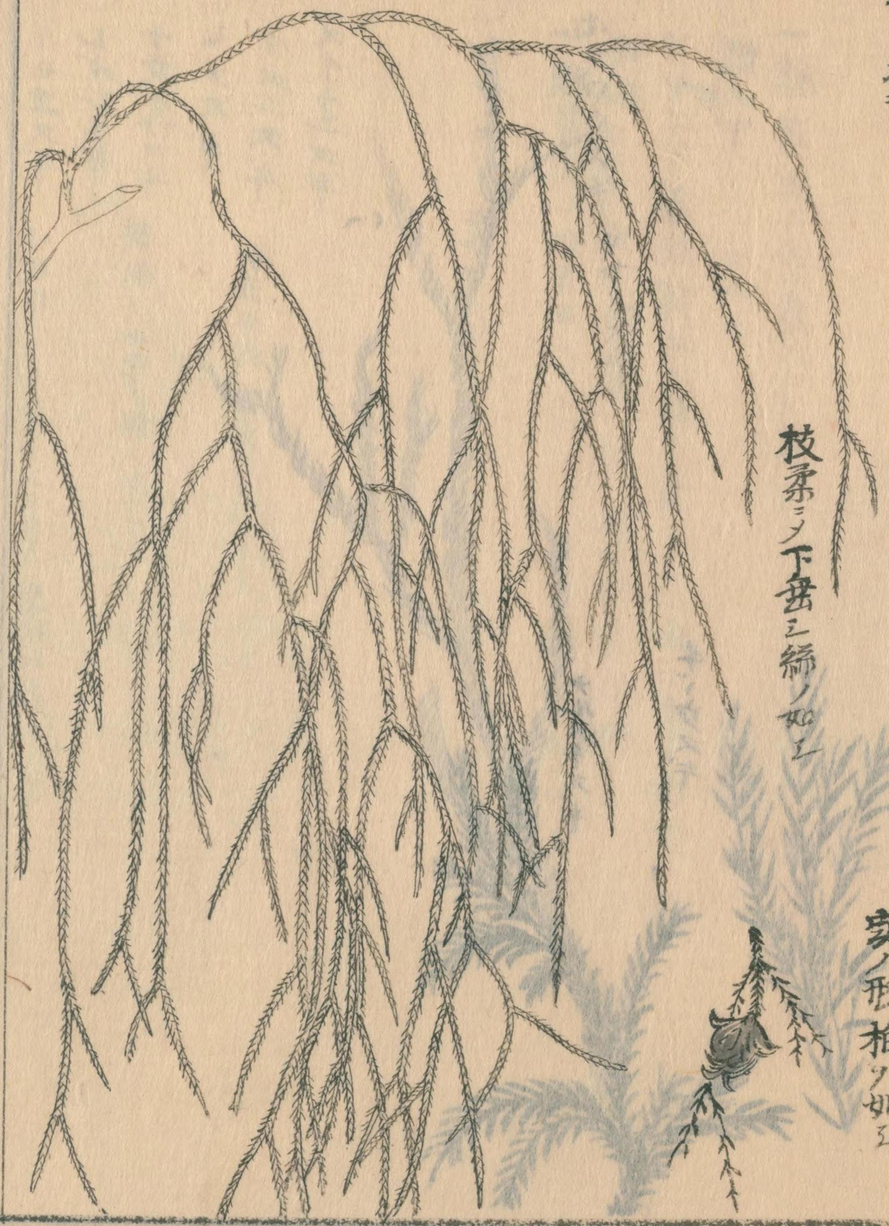
国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

イトスギ



ヒメヱンコウ

サルデスギ

ヱイザンスギ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

○トモヱスギ　小牧辺ニアリ葉ヨレルヨシ　當田氏話
○シダレスギ
○十文字スギ　枝葉ノ十字ノ形ノ如シ
○ヒメスギ
○ボタンスギ　秋方手代林洗左門ニアリ
○スイセンスギ
○

○シノブヒバ　チヤボスギ
一種芽出ノ白キモノアリ
○塔松　王氏彙苑　アヤスギニ亮　此アヤスギ不知
○アヤスギ　葉面背共ニ白ヒ背ノ方白ヒ多シ　班入ノモノヲホタルヒバトス
○綿杉スギ　ヒムロ　古葉ハ青シ
一種芽出ノ白ニ変スルモノアリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ニツケイ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ニツケイノキ　牡桂　メカツラノキ　楓ヲ和名鈔ニヲカツラト云

カヱ子ル　紘毛

桂　尉陀生　茅譜　尉佗圭　製耕録

嗜者　金光明經

釋名　梫　音寢　時珍曰按范成大桂海志云凡木葉心皆一縱理蘭茎有兩道如圭形故字從圭陸佃埤雅謂桂猶圭也宣導百葉為之先勝通使如執圭之使也爾雅謂之梫者能侵害他木也呂氏春秋云桂枝之下無雜木以下畧之

桂ノ字ヲ和名抄ニメカツラト訓ズ古ヨリ是ヲカツラト訓スルハ桂ノ字ノ古訓ナリ今城州加茂祭リニ用ラルヽ所ノカツラノキトハ別ナリ是ハ古名オカヅラニシテ漢名詳ナラズ桂古ハ東京ヲ上品トス其味甚辛甘ニシテ香氣烈シ長サ一尺許細クワリテ木皮ニテツナゲリ故ニトヽキ肉桂ト呼フコノ品今絶テナシ交趾ノ肉桂ハ辛味多ケレ𪜈子バリアリ故ニ古ハ上品トセズ東京ノ次トス今茅舖ニ東京ト呼フモノハ皆下品ニシテ偽物多シ本經逢原ニ謂ユル板桂ナルベシ今ハ古渡上品ノ東京ナキユヘ交趾ヲ上品トス然レ𪜈交趾ノ真物モ久シク渡ラズ古渡モ甚稀之故ニ今茅舖ニ廣南ノ内ヨリ味辛キ者ヲ撰ヒ出ヲ交趾ト名ケ賣其肉桂折桂枝扁桂枝草桂枝等ト名クル者モ皆廣南中ヨリ撰ヒ分ツ者ナリ其草桂トスモノハ至テ細クシテ小枝皮ヲトリタルモノナリ古渡ノ草ノ〻ハ交趾ノ枝皮ナレ𪜈是モ今

ハ渡ラズ又紅毛肉桂アリ形狹クノメ長サ二三尺粗皮ナクノメ赭黄色厚キ者味辛ク薄キ者ハ味淡ニ他桂ノ味ト相反スコノ者上品ナレ𪜈今世ニ翁渡ノ桂ハ皆皮厚ノメ味淡ニク下品ナリ方書ニ肉桂桂心官桂桂枝等ノ名アリ肉桂ハ本草微要ニ乃近根之最厚者ト云本草約言在下最厚者曰肉桂桂心微薄者曰桂心ト云ハ易無味者止留近其木二層味辛甘者ト故名之曰心美之之辭也ト云本草約言去其麤皮而留其近木之味重而最精者曰桂心ト云集解保昇削去麤上皮名曰桂心藏器桂心自是削除皮上甲錯取其近理而有味者ノ説モ之ニ同ニシテ可ナリ雷敩又本草必讀ニハ桂心者近木厚肉刮去外甲錯粗皮ト云時珍及本草微要ノ説ニ内外ノ皮ヲ去テ心ヲ采ルトヲハ非ナリ桂心一名紫桂甚性要暑中桂胖胃論官桂ハ正誤中時珍曰官桂者乃二等共官之桂ナリノ説佳ナリ丹溪補遺ニ曰官桂者桂多品取其品之高者可以充用而名之貴之之辭也ト云ク桂枝ハ枝皮ノコトナリ本草微要ニ桂枝肩頂上細枝以其皮薄又名薄桂ト云然ルニ本草約言ニ桂枝是最上枝條亦名柳桂ニ桂枝ト薄桂トヲ多ツハ非ナリ又本經逢原ニ桂枝即肩頂上細枝條又有一種柳桂乃言如柳條之嫩小也ト云フ本草滙ニハ桂枝即肩頂上細枝條ト云テ二名ニ多ツコノ説時珍其薄者為桂枝々之嫩小者為柳桂桂乃嫩小枝條ト云テ二名ニ多ツコノ説

ト同ノ佳ナリ當ニ本草滙ノ説ニ從ヒ桂枝ト柳桂トヲ多ツベシ其柳桂ハ草桂枝ナリ享保年中南京種来リ今諸州官園ニ甚多ク繁茂スコノ種京師花ノ葉ノ形細長ニメ三縦道葉ノ末ニテ通リメルヲ上トス下品ノ者ハ葉ノ末ニ枝節アリテ三縦道通ラズ其木四時新葉ヲ生メ繁茂ニ易ヒコノ皮香氣ハアレ𪜈辛味少ニシテ渋味ヲ帯ブ土地ニ因テナリ凡桂ハ熱地ノ産ニメ東京交趾皆南方ナリ嶺南桂州ハコノ木アルニ因テ名ク移メ嶺北ニ栽ユレバ氣味殊ニ辛辣少ニ苦ニ入ルニ堪ヘスト頃ノ説ニ依リ漢種ヲ本邦ニ栽テ味ノ変スルヿ宜ナリ九州西国ニハ和產ノ桂アリ其形狀香味皆漢種ト同ニ但淡味アリ今天竺桂ノ根皮ヲ采リ賣ル者アリ香味共ニ良ナリ然レ𪜈本草ニ根皮ヲ用ニルヿ見ニズ

桂枝ヲ和方書ニ淡桂

○和ノ根皮厚キ而ヲ肉桂トニ薄キ処ヲ桂枝トス土ヨリ上ノ皮ヲ桂心ト云紀州薩摩土佐ヨリ出ル色赤キモノ上品和ノ下品肉桂ハ二ブミアリカラミナニ甘ミナニタマ〳〵辛ノ甚辛ノヲニル和產ニ巻肉桂アリ大抵ヨリ来ル

桂心ト云ハ

越州ヨリ出スモノハクスノ木ノ皮ナリクスノ皮桂心ト云越中ノヲリ出ニ若ニツカフクス桂心ニ云クスノ皮ノ内ニ稀ニ朝鮮ニテリアルヿアリ

根皮上品ハ土佐次ハ紀州其次サツニ肥後（サツニ肥後ヲ偽物トス）

○折枝 此ウチニテタヽケテ細ノサケタルモノヲワラデノ桂枝トイヒテ上リ出ス上品ヲ

ヒラ桂枝トイヒ次ヲワラデトイヒ其次ヲ折トイヒワラ肉桂トイヒ桂梢ナリ 小枝ヲイフ 桂枝ハ大枝ノ筒枝ハ茅舗ノ名ニテ二キ肉桂ノ如キ枝ヲ云ヒ肉ヨリカゾヘテアタル処ヲイフ 枝桂ハ二キハノ厚キ皮ヲイフ 桂心ハ皮肉ノ間ニアリ

○トニキハ最上又枝桂官桂トイフ同物ナリ其次上ハ南京口中ヘ入テモテラズ

○紅毛ハ氣味殊ニ上品ヘジヤガタラ氏ニテ

○南京ハ辛味アリ甘味サシ子ニリアリ皮厚ク薄キ皮ニアラサレバ

辛カラズ

今茶店ニテ交趾極上（此上ナシトイフモノ昔ハカリスルニ）

○上品ノ桂辛ト称スルモノ上皮ヲケヅリキサムモノヽ一両價四分許

○ラニンダノ人持来ル ラニンダノ巻肉桂トテ上品ノモノハセイロンノ産ナリセイロンハテトリ来ルモノナリ皮厚ク辛味多シ以前ハ薄皮ヲモ渡シ今ハ厚皮ヲモ渡ニ

ラモニ渡ル

○桂ト茵桂ト別ニスルハ非ナリモト一物ナリ茵桂ハ桂皮ナリ桂ハ根モトノ皮ナリ和方ニ桂心トアルハ天竺桂ヲ用ベシ唐ニテ桂心トイフハ上品ノ称ナリ鹿皮ヲラサリ中處ヲイフ

桂心ノ説ハ本草綱言ノ説ニ從フベシ

柳桂クスカハニツケイ 枝桂アツ皮ニツケイ 辣桂カラキ肉桂ヲ以上用茅須知後篇

本草必讀ニ牡桂ハ肉枝桂心牡ノ字ハ誤ナリ官桂ハ桂觀賓ヨリ出ル觀賓ハ

廣東ノ州ノ名ナリ觀字省テ官ノ字ニ代フト茵桂ハ筒桂ノ字ノ誤ナリト亦桂ハ

上好ノ桂ナリ

○交趾肉桂

京 ｜ ｜ ｜ ｜ 所藏 又花戸ニ交趾肉桂ト称スルモノハ天竺桂ノ一種ナリ

蘭山南京種ナリト云

巾一寸五分長八九寸ノモノ

國華須知 肉桂主治表虚ヲ補フ風寒邪共ニ用ユ虚人ニ効アリ傷寒論中大陽症汗者ニ用ユ婦人君某トス効験多シ

東京（トウキン）ノ厚肉桂トイフハ厚サ三分許上品ナリ 両ニ四分五重許

廣南（クワンナン）ノ薄肉桂トイフハ薄ケレドカベ〻薄キナリ 両ニ五重許

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ジヤガタラ肉桂

廣東巻肉桂

東京肉桂
辛ク甘ク子マリナシ極上品ナリ

モヽ皮ノ如皮薄ク辛味多ク上品

カ子ーフル 紅毛 キナモーミユム 羅 肉桂

蠻舶持渡ハ粗皮ヲ削リ去リ長サ一尺或ハ六七寸ニ切リ来ル氣味薄ク下品ニ
漢産ハ類セス今渡来ノ漢産ニ數種アリ然ヒ大抵類ヲ集ハ四種ト成一種老
根皮多ク厚シ長サ一尺周リ五寸程ニシテ四ク一二重巻タルハ氣味淡シ商家ニテ東
京ノ巻皮ト云イ又ハ桃皮様トモ呼フ下品ナリ尤モ此中ニ茶褐色又栗褐色ニシテ特ニ
薄ク二三重圓ク巻テ廻リ三寸程ノ竹幹ヲ見カ如シ氣味辛甘全キ者アリ是ヲ
山椒皮様ト云商家ニテ撰出シ桂枝ニシテ售ス是レ菌桂ニ又一種アリ幅一寸
或ハ七八分長サ一尺厚サ一歩位ニシテ皮ノ方ニ反タルヲ俗ニ交趾ノ新山ト云イ或ハ
小割トモ云フ是ハ厚ク巻ルヨリ氣味少々勝レリ新山ト云ハ古エ交趾國ニ兵火
有リ肉桂山焼亡ス其後新生ノ肉桂ヲ持来ト云フ何ノ頃ト云フヲ知ラス今ニ
新山ト云ハ此肉桂ノ事ニ又一種アリ幅長サ共ニ小割ヨリ皮厚キヲ十枚
宛重子藁ヲ以テ結ヒ五枚ヲ集テ目ヨリ八錢目位ノ者ニ是等ハ板桂ニ
此外ニ官桂アリ幅七八歩長サ八九寸厚サ二歩ノ許錫鑵ニ納レ其蓋ヲ羅ヲ
以テ張リ蓋ノ上ニ揀選官桂或ハ頂上交趾桂ト云フ金紙ノ題字アリ其上
ヲ別ニ錫ノ蓋ヲ以テ圍ヒ持来ル氣味無双ニシテ最上品ナリ指頭ヲ以テ切ロ
ヲ押ハ脂液随テ出ツ人参ヲ金井玉蘭ト美唱スル如ク最上ノ交趾桂ニ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

高山流水ト云フ口傳アリ左此肉桂ハ官用許リニ適〻一二斤モ持来ルヿアリ一斤價至テ貴シ國ニ於ハ人参ヨリ貴シト云フ其次ハ品ニ應シ價不同アリ譬ハ元代百目ノ肉桂高人ノ入札ニハ漸ク五六十目ノ肉桂ナリ如何トナレバ肉桂一斤ヲ百目ニ買者ハ少シ全ク賣捌難キ故ナリ故官用ノ外貨物ニ持来ル時ハ元代百目ノ品ト云テモ三四十目ニ直組ヲ極ル也依テ不賣メ持戻ルヿ多シ肉桂ニ限ラズ此類多シ

明和六巳六番船賣雲嘉御請持渡

一肉桂　五合　元代一斤一貫四百目

同十三番船崔輝山同断

一仝　壹斤九合三夕

同断　右最上ノ價ナリ以下畧ス

安永三四年ノ頃交趾國肉桂一本持渡タルニバラク

官園ニ止リ其後御用トナル接枝一本残ル高サ五尺許リニ成ル其葉長ハ五六寸幅三寸程ニメ鋸歯ナク光澤ニメ三縦後アリ風ヲ迎テ自ラ芳香ヲ発ス是菌桂ノ集解ニ柿葉ニ似リト云者之天明元丑年寒氣至テ烈シテ枯ル其後来ラズ

ケイシン　圭分　新明集

○乳腫　桂心牽牛子　微炒　等分酒下ス　○打撲血滞青腫肉桂末水調敷

○痰肉桂丁子山椒　各二匁　氷サトウカヤタ　云匁　蜜子リ　○蟲歯肉桂末菌根ニ付ル　○打撲ハロジニ肉桂末水調敷　○ホ子ヌキ肉桂末薄ノリニ合薄ク引

○乳ヲ出ス茶肉桂末一両大麦反湯ニテサイ〳〵用　○消散肉桂末酒調ヌル

交趾キンケイ　甘ミ少アリ口中ヘ入ルト子ヒルコレヲ官桂ト云

箘桂

釋名 筒桂 唐本 小桂 恭曰箘者竹名此桂嫩而易卷如筒即古所用筒桂也筒俗箘字後人誤書為箘習而成俗亦復因循也時珍曰今本草又作從草之菌愈誤矣牡桂為大桂故此稱小桂 逢原筒桂俗名官桂

交趾ノ卷肉桂ナリ皆枝皮ニシテ薄ク二三重卷ク者ナリ故ニ卷肉桂ト云味甚辛ヒワリ交趾ト呼フ者ハ大サ五分許二ツワリニシテ内ニ脂アリ今ハ真ノ東京ナシ故ニ交趾ヲ上品トスレ𪜈此品モ久シク渡ラズ古渡ハ甚稀ナリ故ニ茉舖ニ廣南ノ内形相似テ辛味アルモノヲ撰ニ出シ交趾肉桂ト名ケ賣ル古ハ茉舖ニ卷肉桂ヲ誤テ官桂ト云本經逢原ニ筒桂俗名官桂ト云ノ誤リニ因ルナリ別ニ草肉桂ト呼アリ交趾ノクズナリ今ハ廣南ノ中ヨリ撰ニ出ス 即柳桂皮ナリ

集解 時珍ノ説ニ叢生巖嶺間謂之巖桂俗呼為木犀ト云ハ今云木犀ナリ

國茉須知 タマクス クロダマ クロタフ

ヤブグイ ヤブニツケイ

実ハ絞リテ油ヲトリ頭髪風ニ効アリ凡テ膏方ニ油ヲ用ユ夏月瘡中虫アル者ニ妙ヘ

輔仁 菌薰

茵光 已上兼名苑

百菜使者 陶隱居術

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

ヒラギモノセイ

アラキ鋸歯アリテヒラギノ葉ニ似故名花ハ白ギンモノセイノ如ニシテ開ク時遅シ

ギンモノセイ

葉ニ細鋸歯アリ秋分前後白花ヲ開ク

モクセイ

ダモ 天竺桂ト同名

木犀

巖桂

箘桂ノ集解時珍ノ説ニ叢生巖嶺間謂之巖桂俗呼為木犀

庭際ニ栽ル葉ハ堅ク冬凋マズ秋葉間ニ花ヲ開其香遠ク聞テ瑞香花ノ如シ

唐山ニテ詩ニ詠スル桂花ニソ業用ノ桂ノ類ニ非ズ唐山ニハ數品アリ春花サク

モノヲ春桂 物理小識ト云 一名早桂 江寧縣志 四季花サク者ヲ四季桂 秘傳花鏡

ト云 逐月花サク者ヲ月桂 日上ト云 又紅花ナルモノヲ丹桂 安南國史ト云 一名

紅桂 同 紅木犀 宗吉ノ詠物新題

巖桂一名 花仙 事物異名 仙客 典籍便覽 仙友 同上

山友 事物紺珠 天闕清香 同 巖山圭木 同

狀元花 名物法言 天香 尺牘双魚 七里香 幽書

鳳尾 同 九里香 安南國史 金粟 品字箋

檜花 通雅

此木ヲ竪ニ剖ハ犀角ノ如紋理アリ故木犀ノ名アリト云

金モクセイノ紅色ヲ帶モノ 岩田多一所持

黄花アリ 紅アリ紅ハ和産未見

秋花者春花者四季花者逐月花者アリ其秋花者ハ即木犀ナリ

白花者ヲ花探花 紺珠ト云 一名花傍眼 同上 又黄結実ノ者ヲ丁香欖

ト云 花暦百詠ニ出

ヤブニツケイ
ダモ
タブ 筑前
クスダモ 京
メニドダモ 勢州
クスメンドウ
アサカイ 因州
ムツ 日
クロダマ 豆州
クロダモ 和多都加家

松浦ニツケイ
ダマ
クスタブ同
アブラダモ
タマクサ 豫州 黒白通ブラ
カラダモ 日名アリ
アサダ 丙州
クロツバノキ 肥前
コガイノキ 長州
クソダマ 江州上野

ホトケタラシ
タマ
タボ 加州
アブラシバ
タマガラ 日 同上
コガノキ 播州
クロアサダ 日
シホダマ 上総
クスタマ
タマノキ 紫州根古ヤ

天竺桂

丹陽木 酉陽雑俎

黒白二種アリ
山中ニ自生アリ甚大木アリ葉形桂葉ト同シ只三縦道来テ通ラズ横脈

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

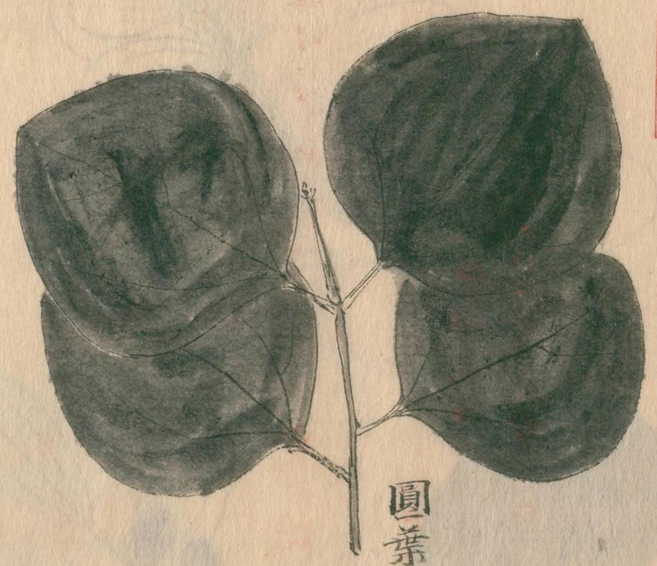
アリ香氣少メ莽草ノ氣アリ圓葉狹葉濶葉數品アリコノ樹皮ヲ採リ松浦桂心ト称ス肥前ノ松浦ヨリ出ス故ナリ味渋ク最下品ナリ近年椶皮ヲ出スコレヲ真ノ根皮ト云微シク辛味アリテ樹皮ニ優ルトイヘ𪜈茉用ニ堪ス実ハ櫧ノ實ノ如ニメ三四粒朶ヲナシテ下垂ス熟メ黒色上ニ白粉ヲ生ス外家ニ用ユクロツヾト云國ニヨリテ此子ヨリ油ヲトリ又蝋モトル其蝋ヲアサダラウト云又一種葉背ニ白毛アルモノヲシロダモト云至テ下品ナリ

是ニ雌雄アリ雄ハ葉大ニメ四五寸許リ花ノミニメ実ヲ結ブズ是ヲ雄コガノ木ト云播州方言雌ハ葉小ニメ長サ三寸半許リ実ヲ結ブ形圓ニメ熟メ色黒シ是ヲ雌コガノ木ト云同上

又京師清水ノ奥ノ院ニ大円木ト云アリ是ハ小葉ノ白ダモ之大和本草ニイヌガシト云葉ノ大サ七八分長サ二寸許背色白シ冬ヨリ春ニ至テ紫赤色ノ花ヲ開ク一寸許リ穂ヲナシテ甚美ナリ凡シロダモハ皆紫赤色ノ花ヲ開テ美ナリクスダモハ一花ニメ美ナラズ

シロダモ
ツヾノキ
シロツヾ 肥前
シロダブ 筑前
アブラキ サツモ
ラキノミノキ 豊前
ウラシロ 奥州
スヽベイ 同

實ハ形圓ニメムクロジノ如シ熟メ色赤シ搾リテ油ヲトルヲラキノミノアブラ豊前ト云又ラキノコノアブラ𪜈云



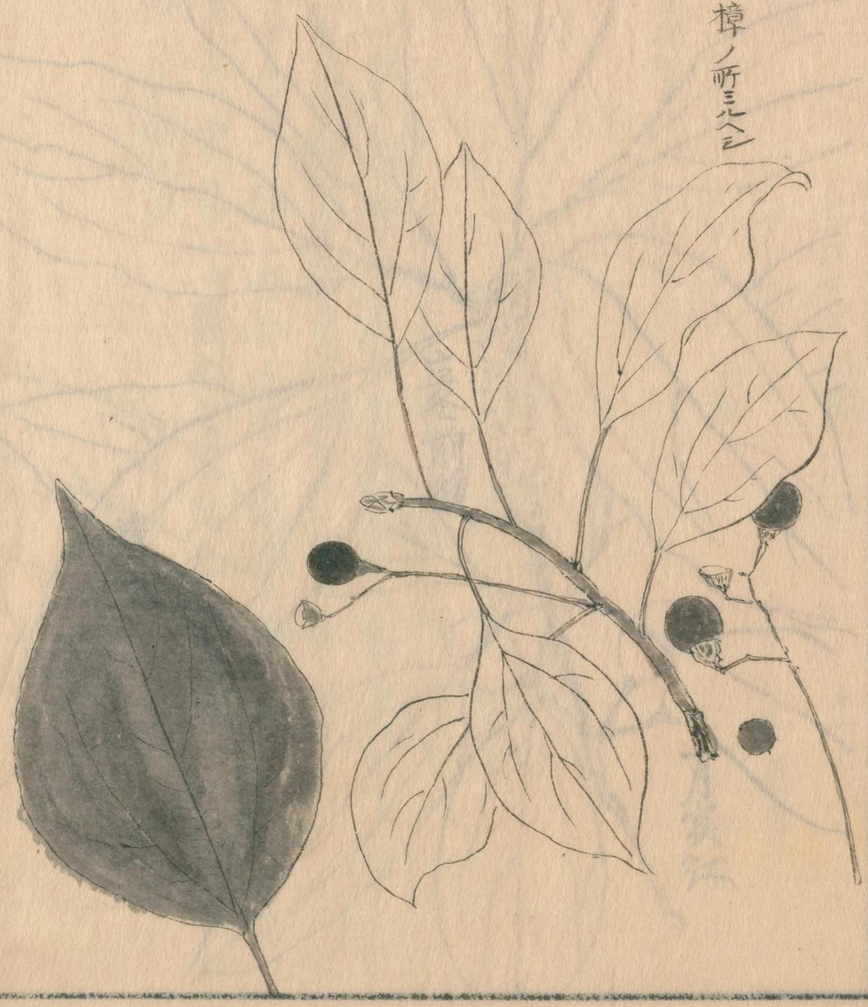
圓葉ノ天竺桂

カウチニツケイ
ラクニダニツケイ

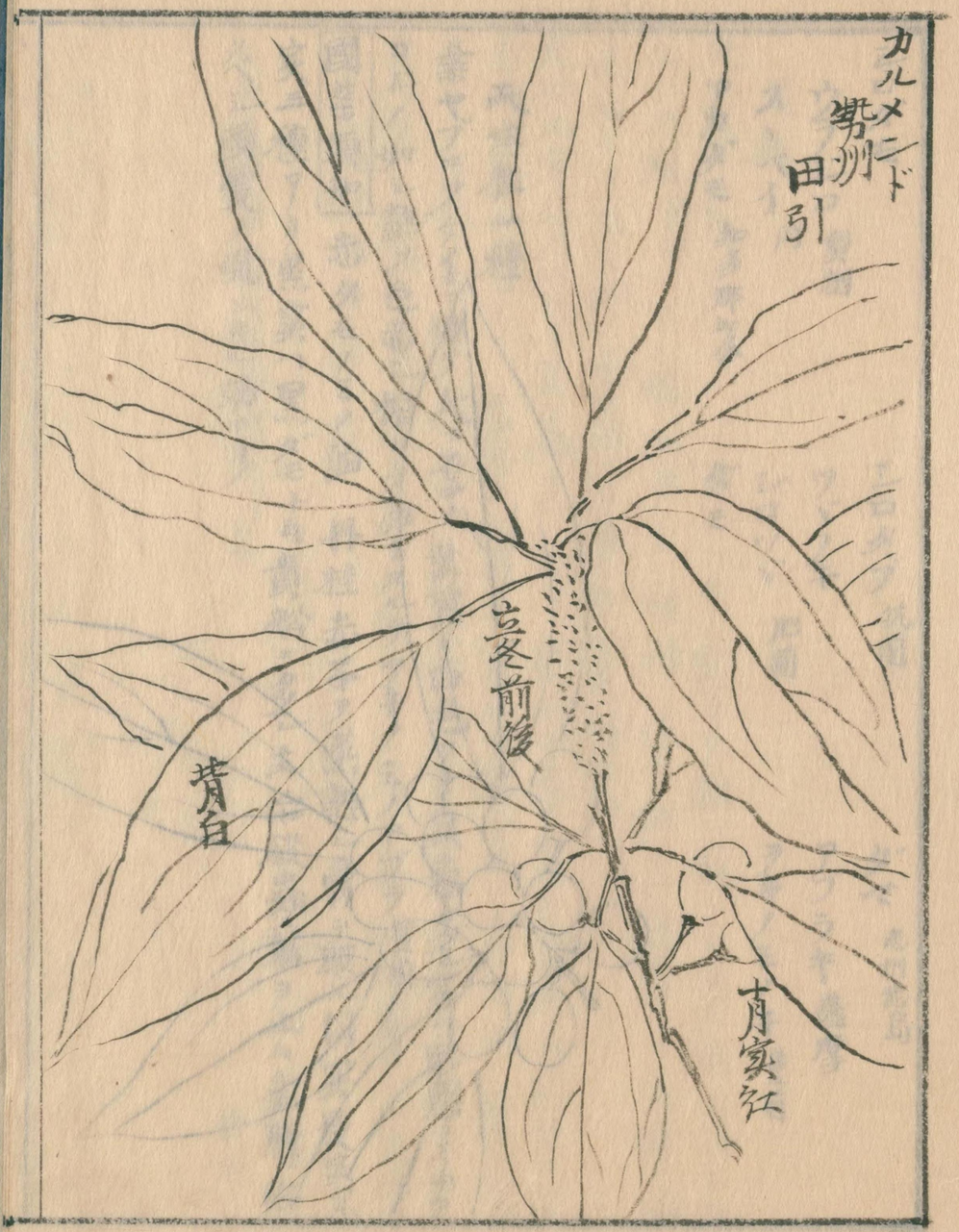
立秋
南京産ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ミロダブ
ツクミノミ
シヤウクス　樟ノ所ミルヘシ



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ニロダモ
ウラジロ 奥州
スーベイ 同
アカダモ 紀多郡加茂

ニロタブ 筑前
ツバノキ
ニロツバ 肥前
ダモ

ダマ 志州志島
アブラキ 薩摩
ヲキノミノキ 豊前

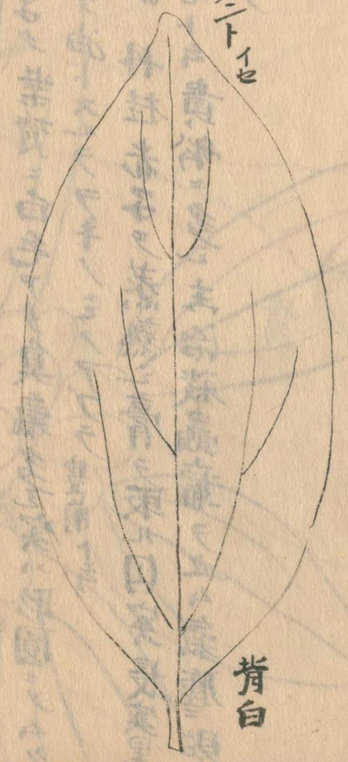
天竺桂一種

葉ヤブニツケイニ似テ大ニ厚ク葉背ニ白毛アリ臭氣多ク実ハ形圓ニメムクロジノ如ク熟ノ色赤ク搾リテ油トスルヲヲキノミノアブラ豊前ト云

國薬須知 赤ダモノミノ油 丹桂赤子ヲ蒸熟シ膏ヲ取ル円実長実黒実三種アリ黒実ハ黒ツダモトモ貴船ニ多シ主治殺蟲痛ヲ止ム氣膿ニ貼ベテ頭髪ノ虱ニヌル効アリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

タモノ実ナキ方ヲタモカルメントイセ



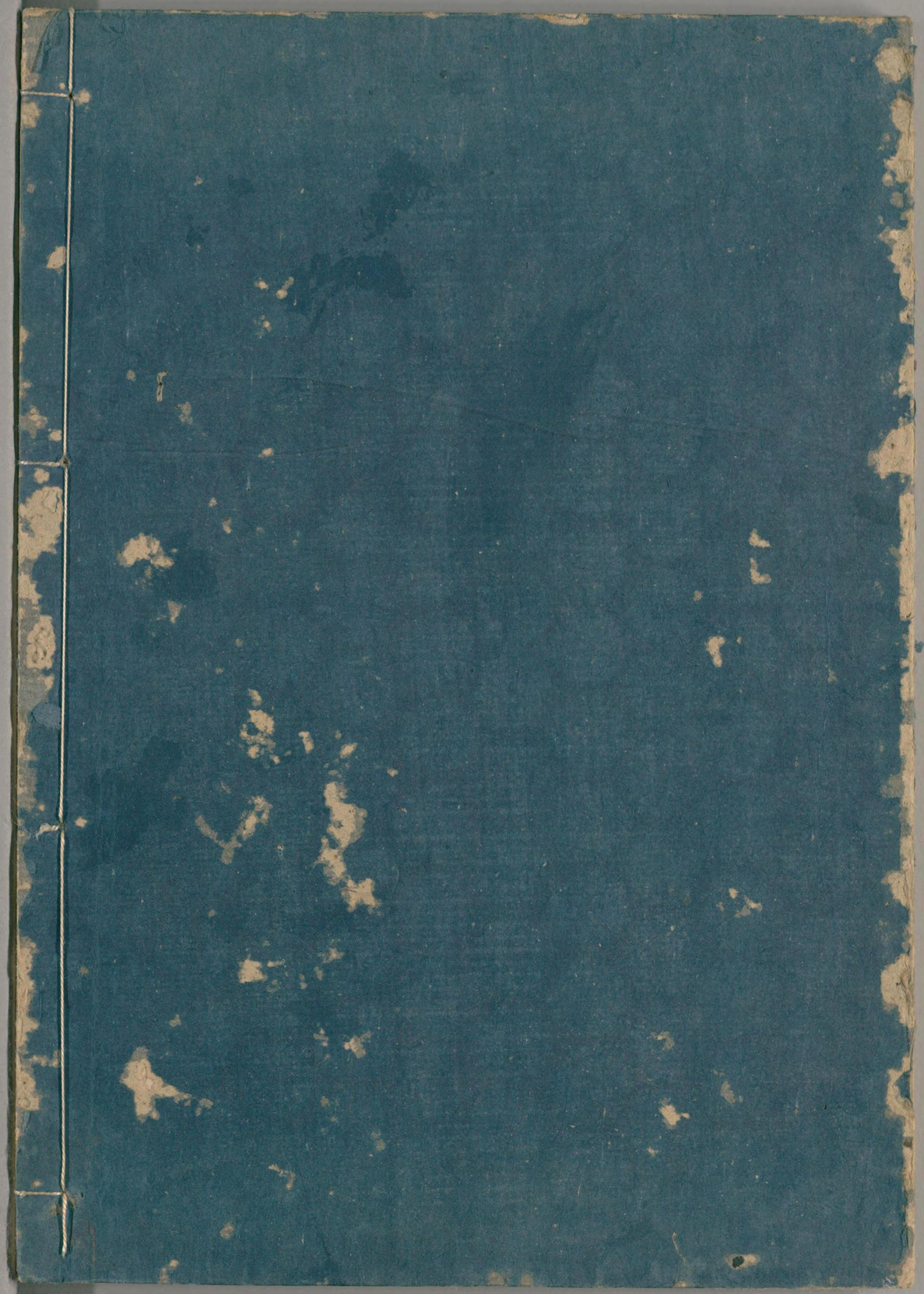
クロツヾ　アサカイ　因州

月桂

天竺桂（クスダモ）ノ実ナリ（木ニテハ天竺桂トヲ実ニテハ月桂トヲ）コノ実ヨリ採ル蠟ヲアサダ蠟阿州ト云
又コガ蠟防州　ツヾ蠟肥前ト云　蠟燭ニ造リ燃セバ臭氣アリ集解ノ説
甚妄ナリ凡ソ物ノ子ヲ雨ラス事古今其例多シ
文安元年三月二日小豆ヲ雨ラス（下学集ニ出ツ）寛文十年正月廿九日大豆喬麥ノ如キ
者雨ル大小五色アリ　享保十九年十二月五日赤小豆ノ如キ者雨ル皆空殻
ナリ　保延三年草ヲ雨ラシ（色黒シトヲフ）慶長元年及慶安三年毛ヲ雨ラス此等
皆大風ニテ他國ヨリ吹キ来ル者ナリ怪トナスニ足ラズ事物紺珠書隠叢説ニ
古来天雨ニ雑物事詳ニ載

月桂ヲ今長崎ニ来ル蘭人　ヲヲリノールトヲ　ズドウボーノ下ニ敷

書隠叢説曰雨粟雨穀雨稲雨麥雨黍雨豆雨米雨実雨珠雨碧雨金雨銅雨
鐵雨錫雨鉛雨瑠璃雨水銀雨銭雨五銖銭雨刀剣雨花雨草雨木雨木屑雨木
氷雨李雨李雨桂子雨杉葉雨枣雨酸棗雨黄雨魚雨鹿雨羊雨亀雨蟲雨蠡雨蝦
雨蛤雨贏蠏雨科斗雨鼈雨氂雨雪雨肉雨毛雨血雨筋雨膏雨沙雨酒雨湯雨
灰雨土雨赤雪雨水雨黄塵雨黄泥丸雨墨雨虹雨紙銭雨箋雨石雨石子雨五色
石雨絲雨綿雨苧雨布雨帛雨絳羅雨絮雨釜甑雨杵臼雨戦具雨小兒大抵
正氣不足蛮異所致或帰他處之物為暴風所吹泊揖聚ヲコノ説是ナリ紺珠
ニモ此事アレ尼叢説ノ詳ナルニハ不及　本邦ニモコレアリ
集解時珍ノ説非月中有桂トヲ是ナレ尼妖怪ノ所致トニハ甚説ナリ



国立国会図書館　　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用